

イキイキ健活！ 「私のプラス1」

生活に気軽に取り組める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。



▶ 大内さん

いつまでも自分の口で
食べるために！
毎日の歯みがきと
定期健診で健口に！

今回、市の集団歯科健診を受け、自分の口の健康状態を確認しました。
毎日の歯みがきでは、歯と歯の隙間の広さに合わせてデンタルフロスと歯間ブラシを使い分けてケアしています。
一生自分の口でおいしく食べられるよう、定期的な歯科健診と日々のケアを当たり前の習慣として続けています。
皆さんの「プラス1」を紹介しませんか？詳しくは、健康推進課（☎ 25-5311）までお気軽にお問い合わせください。

ウォンボムさんの敦賀研修ダイアリー Vol.4

姉妹都市である韓国東海市と職員相互派遣事業を行っています。今年、東海市から20人目の研修員として、金源範さんが、11月まで市役所で研修を受けています。

7月の1カ月間、観光誘客課、交通政策課、まちづくり推進課で研修を受けました。
観光誘客課では、豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」で来た観光客を氣比神宮まで案内しました。職員の皆さんがいつも親切に案内している様子がとても印象に残りました。新しくオープンした「かにファクトリー」も見学し、おいしいカニを食べたり、市のSNSへ投稿する動画を撮ったりしました。私が登場した動画は市公式Instagramから見れますのでぜひご覧ください！
交通政策課では、新幹線の車両基地を見学しました。近くで見た新幹線はとてまかつこよく、中も広くてきれいでした。また、敦賀駅で放置自転車をどのように処理するのを見学しました。韓国では日本より自転車を使う人が少なく、登録制度もないため、放置自転車の処理はあまり難しくありません。しかし、日本では登録制度があるため、手続きが多く、時間もかかることが印象に残りました。
まちづくり推進課では、氣比神宮から続く商店街のリニューアルについて、実際に歩きながら見学しました。歩行者を大切にするために道路を狭くしたことがとても印象に残りました。また、金ヶ崎エリアでは新しい公園を作っているそうで、完成した公園を見るのが楽しみです。



市公式Instagram▲



汚水がきれいに 上下水道の仕組み学ぶ



7月26日 敦賀市上下水道フェス

上水道、下水道の施設や生活用水として使った水を処理する仕組みについて知ってもらおうと、敦賀市が上下水道フェスを開催し、夏休み中の小中学生37人が参加しました。参加者は、職員の説明を受けながら、地下水などから水道水をつくる昭和浄水場と、生活排水など汚れた水を処理する天筒浄化センターを見学しました。施設見学後は、下水道の点検用ロボットカメラ操作や水漏れした配管の修繕など11件の体験ブースが設けられ、参加者は思い思いのブースを楽しんでいました。この日参加した敦賀南小学校5年生の堀江浩佑さんは「微生物を使って下水をきれいにしていることに驚いた。これから水を大切に使いたい。」と話していました。



学びの架け橋、マラウイへ

7月24日 敦賀市出身 JICA 海外協力隊員による市長表敬

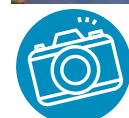
JICA 海外協力隊員としてマラウイ共和国へ派遣される敦賀市出身の教員 田中香帆さんが、出発を前に市長を表敬訪問しました。約1年7カ月間、現地の小学校にある特別支援学級で、6～19歳の約20人の児童・生徒を対象に学習支援を行います。田中さんは「現在勤務する特別支援学校に近い環境で活動できるマラウイを希望しました。子どもたちの目線に立ち、一人ひとりのために何ができるかを考えながら活動したいです。」と抱負を語りました。米澤市長は「帰国後は現地での経験を敦賀の子どもたちに伝え、良い刺激を与えてほしい。」と期待を寄せ、国際協力に取り組む田中さんを激励しました。



敦賀の夜空に咲く大輪

8月16日 第77回とうろう流しと大花火大会

敦賀の夏の風物詩「とうろう流しと大花火大会」が氣比の松原海岸で開かれました。今年は「敦賀花火ものたり」をテーマに開催。約1万発の花火が打ち上げられ、約22万人の見物客を魅了しました。



高校生、青春全開！

8月11日 敦賀市高校生合同文化祭

今年で6年目を迎える市内4校合同の文化祭「TonTeen2026」が、きらめきみなと館で開催されました。「TonTeen」は、敦賀の「敦」と10代の若者「Teen」を組み合わせた造語で、学校の垣根を越えたつながりや仲間づくりを目的としています。運営・実行委員合わせて約90人の高校生が準備を進め、書道パフォーマンスや弾き語りなどのステージ企画、射的やスマートボールなどの縁日企画など、多彩な催しで来場者を迎えました。TonTeen リーダー 田中羽姫さんは「敦賀をさらに盛り上げようとする高校生の頑張りを見てほしい。世代を問わず楽しめるイベントなので、青春してほしい」と熱い思いを語りました。



敦賀病院 好きすぎて滅！

8月1日 健康応援フェスタ2026・熊本地震に伴う派遣および出発式

市立敦賀病院では、市民の健康への関心を高め、交流を深めることを目的にイベントを開催し、今年は約900人が来場しました。医療機器を使った測定や、さまざまな職種の仕事体験コーナーが設けられ、家族連れが楽しみながら医療への理解を深めました。来場した上野琉さんは「毎年来ています。生まれてから6年、助産師さんなど多くの方が覚えてくれていて、あたたかい病院です。」と笑顔で話していました。また、熊本地震に伴うDMAT コーディネーションチームの派遣・出発式も行われました。被災地支援と災害医療の調整業務のため、理学療法士の西田拓司さんが8月3日から7日まで派遣されました。



いじめ撲滅へ 活動指針を決定

7月28日 市 students 連合会（市S連）ワークショップ

いじめ撲滅に関する市内中学校の活動指針を決定するため、市S連のワークショップが栗野コミュニティセンターで開催され、中学生15人が参加しました。ワークショップでは、活動指針が話し合われ、下記の指針が決定されました。市S連は、市内6中学校の生徒会メンバーや生徒代表で構成され、2014年に発足。コロナ禍で一時活動を休止していましたが、昨年度活動を再開しました。参加した澤部碧生さん（気比中3年生）は、「市内中学校の指針を決定するのは大変やりがいがあった。全員が楽しくポジティブに学校生活を送れるよう、全員が当事者意識を持つことが大事。」と話していました。今後、指針に基づき、市S連で市内中学校の具体的な活動内容が決められます。
活動指針 「いじめ撲滅宣言」
主題 Positiveでアクセル 思いやりでブレーキ
副題 ▶笑顔を増やそう ▶前向きな言葉を使おう
▶相手の気持ちを考えよう ▶責任ある行動をしよう